

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会 NEWS

2017 July

vol. 38

《目次》 P1…新年度の挨拶 P2…総会報告 P3～6…参加報告 P7…「言語聴覚の日」のお知らせ P8…理事会報告
P9…各局からのお知らせ P10…合同学術大会のお知らせ P11…施設一覧 P12…編集後記

新年度の挨拶

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史
(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

平成 29 年 4 月 27 日（木）に開催された定時社員総会には多くの会員に出席していただきありがとうございました。会員の出席率の高さで当会は会員の手作りの会であるということを毎年、再認識させていただいております。

総会では理事会より提案させていただいた全ての議題に対して承認をいただきありがとうございました。特に第 4 号議案の「会費の変更に関する件」は多くの意見があったかと思えます。不賛成票が何票かあった事実は理事会としてしっかり受け止める必要があります。理事会や代表者会議での議論を経ての議案ではあったものの会員に対して時間をとって詳細な説明をすべきだったと反省をしております。

当会の活動は何処に行っても称賛されるほど質的・量的に充実した活動が展開できていると自負しております。しかし関連団体との協働事業など活動が横に拡がるとともに県士会財政は厳しくなり、県士会単体の事業は節約を迫られ、ここ数年は費用を抑えた事業を展開することが議論の中心となっております。この先の財政基盤の安定化を図り、更なる県士会の発展を考え山梨県理学療法士会・作業療法士会と同額の会費にする運びとなりました。会員皆様のご理解に改めて感謝申し上げます。

これまでも当会は事業の展開に際しては会員へどう還元するかという点を常に考えて活動をしてきました。昨夏以降集中的に実施された日本言語聴覚士協会（以下、協会）推奨の地域リハの人材育成の「初期研修」や「導入研修」では受講費をいただいた会員へはテキストを作成し配布しました。立派な研修テキストに仕上がっておりますので受講された研修の復習として活用して下さい。

今年度は、当会が事務局を担当するリハ専門職団体協議会の合同学術大会の開催や協会との共催によるサッカー J1 ヴァンフォーレ甲府ホームゲームでの「言語聴覚の日」広報活動など大きなイベントが控えております。また、充実した学術活動（人材育成）や会員への情報提供、3 士会の連携基盤となるリハ専門職団体協議会、山梨県介護支援専門員協会を含めた 4 団体での合同事業など当会にしか出来ない事業を展開していきます。

今後の地域包括ケアシステムを支える言語聴覚士の地方組織の在り方として、患者会の支援の方法や内容についても検討し具体的な事業としての展開を考えております。

今後とも県士会活動にご理解をいただき、積極的な参加をお願い申し上げます。



一般社団法人山梨県言語聴覚士会 平成 29 年度 定時社員総会報告

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 河西 祐子

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 平成 29 年度 定時社員総会が、4 月 27 日（木）午後 6 時 30 分より、ベルクラシック甲府で開かれました。

司会の赤池三紀子副会長が開会を宣したのち、定款第 18 条に基づき石田礼氏が議長に選出されました。議長より出席者数は 116 名（会場出席者 72 名、書面表決者 19 名、委任状提出者 25 名）で定款第 19 条の定足数を満たしており、総会は成立する旨が告げられました。



次いで、議事録署名人に、藤巻千春氏、廣瀬由紀氏が選出され、議案の審議に入りました。

第 1 号議案：平成 28 年度事業報告に関する件では、河西祐子事務局局長より、事務局、学術局、広報局、社会局、山梨県言語聴覚士会第 9 回学術大会、地域支援事業等推進委員会、災害対策準備委員会、訪問リハビリテーション委員会、特別支援教育委員会の平成 28 年度の活動が報告されました。続いて、第 2 号議案：平成 28 年度収支決算報告に関する件、第 3 号議案：監査報告に関する件では、池神多加子財務部部長より収支決算報告が行われたのち、深澤有里監事より当法人の会計及び業務の執行についての監査報告が行われました。採決の結果、上記議案はいずれも賛成多数で承認されました。

第 4 号議案：会員及び会費に関する規程一部変更に関する件では、内山量史会長より、正会員と準会員の会費変更について趣旨説明が行われました。採決の結果、第 4 号議案は賛成多数で承認され、年会費を正会員 10,000 円、準会員 5,000 円とすることが決定しました。第 5 号議案：平成 29 年度事業計画案に関する件では、河西事務局局長より、各部局、委員会の事業計画案について説明が行われました。また、第 6 号議案：平成 29 年度収支予算案に関する件では、池神財務部部長より平成 29 年度の収支予算案が提出され、第 5 号議案、第 6 号議案共に賛成多数で承認されました。

第 7 号議案：山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に関する件では、中村晴江専門職団体協議会会長より、平成 28 年度の各委員会の活動報告、決算報告、平成 29 年度の活動計画案、予算案について報告され、賛成多数で承認されました。

以上、理事会で提案した議案はすべて承認され、議長の職務は終了となりました。

最後に、内山会長より、会費の変更に賛同していただいたことへのお礼と今年度は例年の事業に加え、当会が事務局を担当する第 2 回リハビリテーション専門職合同学術大会や日本言語聴覚士協会との「言語聴覚の日」の共催イベント等を開催する予定であること、また地域の患者会の支援の在り方についても県士会として考えていく意向であり、皆さんのさらなるご協力をお願いしたいとの挨拶があり、午後 7 時 15 分に閉会となりました。

新入会員歓迎会報告

石和温泉病院 宮澤 美鈴

平成 29 年度新入会員歓迎会が、4 月 27 日（木）ベルクラシック甲府において開催され、参加者 83 名のうち今年度の新入会員は 14 名でした。歓迎会には、山梨県理学療法士会・山梨県作業療法士会の方々も来賓として参加して頂きました。

言語聴覚士として新たな生活を始められた新人の方々、入職おめでとうございます。私も 1 年前に他県から就職し、右も左もわからず不安な気持ちでいっぱいでした。日々の臨床で悩むこともありますが、研修会で学んだことが患者様のアプローチを見直すきっかけにもなりました。職場の指導して下さる先輩や同期に支えられ、充実した日々を送っています。

当士会では、新卒者研修会を初め、学術講演会や症例検討会などの他にも多くの学ぶ環境が整っています。また、山梨県理学療法士会・作業療法士会との連携も強く、今年度は第 2 回リハビリテーション専門職合同学術大会も開催されます。私も今回が初参加となります。例年以上の学びや交流の場となると心待ちにしています。言語聴覚士としてのスキルを磨き、患者様の笑顔が増えるよう共に頑張りましょう。



「平成 28 年度認知症サポーター養成講座」開催

平成 29 年 3 月 16 日（木）に青少年センターにて、当士会では 3 回目となる認知症サポーター養成講座が開催されました。当日は ST13 名に加え、理学療法士、看護師、検査技師などの多職種、計 43 名の参加がありました。

参加報告

加納岩総合病院 鮎川 梨江

講師の内山量史先生、赤池三紀子先生、山田徹先生から認知症の基礎知識、治療方法、コミュニケーション方法や、国と山梨県の認知症に対する施策（新オレンジプラン、山梨県認知症対策推進計画）、認知症サポーターについてお話をいただきました。

今後、認知症の高齢者は 2025 年までに、約 700 万人（65 歳以上の高齢者約 5 人に 1 人）へと増加すると推計されており、言語聴覚士が認知症の高齢者と関わる機会はさらに増えていくと思います。認知症の高齢者と関わる際は、全人的理解を基本にし、地域で生活するということを常に考えていく必要があると感じました。サポーターの一員として、そして言語聴覚士としての自覚を持ちながら日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。

地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業

「地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業」として日本言語聴覚士協会が推奨する「初期研修」を 80 名が受講しました。また、ステップアップ講座である「導入研修」が平成 29 年 1 月と 3 月に 2 回ずつ 6 時間に及ぶプログラムで開催され、60 名が修了しました。会員の約半数に達する修了者は全国でも例がなく、地域リハを担う人材として協会に登録されました。

初期研修参加報告

山梨県立中央病院 市川 麻衣



平成 28 年、秋に行われた 3 回に渡る初期研修に参加させて頂きました。内容は大きく分けて「介護予防総論」、「口腔・嚥下機能低下予防」、「認知機能低下予防」、「コミュニケーション支援」、「介護保険のしくみについて」、「介護保険サービスについて」の計 6 項目でした。

高齢化社会が進む中で、介護が必要になってから介護を提供するのではなく、機能低下を予防していくための現時点でのかわりが大切なのだと思います。

私自身、言語聴覚士として医療現場でしか働いたことがなく、地域包括ケアの中で言語聴覚士として持っている専門知識や技術をどのように生かしていくかということがイメージしにくい状態でした。高齢者が自立した生活を送ることができるよう、急性期病院から介護予防をしていくことや急性期病院から積極的に地域に出ていくことの大切さを学びました。

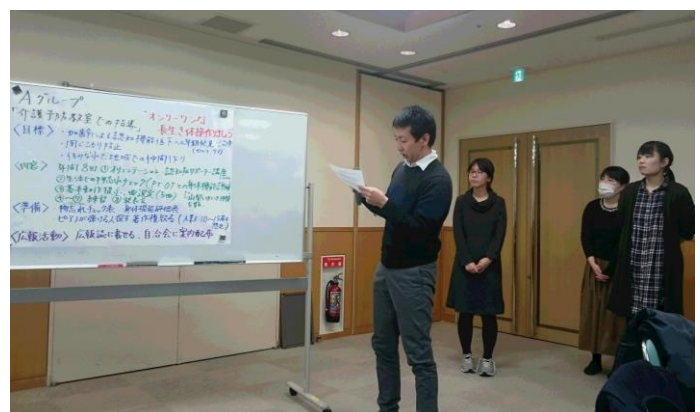
初期研修を通じて、山梨県の介護事情や高齢化問題に改めて目を向けて見つめ直すことができ、言語聴覚士としてだけでなく、一県民としてとても有意義な研修となりました。

導入研修参加報告

山梨赤十字病院 深澤 有里

平成 29 年 3 月 4 日・11 日と国立病院機構甲府病院で開催された日本言語聴覚士会の進める「地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成研修」の導入研修を受講しました。「地域包括ケア推進コース」と「介護予防推進コース」の 2 つのプログラムからなり、グループワークを含む 8 講座を県士会の先生方よりご教授いただきました。内容は社会保障制度の概要、地域包括ケアシステム、地域ケア会議、介護予防事業、他職種との連携、ST の役割について、グループワークでは介護予防事業計画の立案や地域ケア会議での視点、助言方法を学びました。また先生方のお話から熱意も感じられ、地域での ST の必要性も伝わってきました。

介護分野の仕組みや耳慣れない言葉もあり、地域や社会の現状がしっかり理解できておらず視野の狭さを実感しました。超高齢化社会に向かい、ST は今後さらに地域での活動を求められるようになると思われます。与えられた場で必要な情報を提供できるように、日々の臨床、他職種やご家族との連携などから 取り組んでいきたいと思ひます。



第 1 回地域支援事業等推進委員会研修会

地域ケア会議等に参画している 3 士会の会員の実践報告をもとに、リハ専門職としての在り方や他職種連携の実践について学ぶ目的で、第 1 回地域支援事業等推進委員会研修会が平成 29 年 1 月 25 日にぴゅあ総合で開かれました。当会からは、ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院の舟越あゆみ先生が発表され、ST40 名の参加がありました。

参加報告

石和温泉病院 坂井 隆一

理学療法士の原田智史先生（石和温泉病院）、作業療法士の飯野知一先生（しらゆり訪問看護ステーション）、舟越あゆみ先生（ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院）の地域での活動が報告されました。舟越先生の講演では地域ケア会議の流れ、報告書のみから患者様の状態を読み取ることの難しさ、ST に求められる意見やアイデア、領域が重なる他職種に行った配慮など、地域に出た経験の乏しい私にとっては大変興味深い内容の報告でした。

超高齢化社会を迎え、地域包括ケアシステムの構築が急がれています。地域の中で ST にどのような事が求められているか、どのような準備をしたらいいのかなどを考える良い機会となったと共に、そのような場で他職種と連携して患者様のケアを行うために、ST としても個人としても見識を高め、成長する必要を感じました。



4 団体合同研修会

山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県言語聴覚士会では、今年度より全国に先駆けて介護支援専門員との合同ワーキンググループを発足させ、意見交換会を行なっています。そこでリハ専門職と介護支援専門員の更なる交流と研鑽を目的として、平成 29 年 2 月 9 日（木）文学館において「やまなし地域リハーケアの推進を考える会」研修会が開催されました。当日は 55 名の介護支援専門員を含む 275 名の参加があり、地域包括ケアに向けた体制作りには大きな期待を感じました。

参加報告

笛吹中央病院 山田 徹



この研修会は、4 団体が全国に先駆けて立ち上げた「やまなし地域リハーケアの推進を考える会」が主催したもので、当日は各団体の代表によるシンポジウム形式で意見交換が行われました。その中で、県介護支援専門員協会の鷺見会長より「単にできるという情報だけではなく、どのようにすれば家でできるようになるのかが知りたい。そのためにはケアマネが家の状況など必要な情報を的確にリハビリに伝える連携が必要」と現状の課題点が挙げられました。私自身臨床を振り返ると、ケアマネージャーと直接情報伝達を行う機会は少なかったと思います。ST の専門分野であるコミュニケーション障害は見逃されてしまうことも多くあり、普段からケアマネージャーと会い、情報交換をしていく必要があると痛感しました。地域連携・地域力を高めていくためにも、医療・介護が、地域で顔の見える関係を構築し、より質の高いサービスを提供していけるよう取り組んでいきたいと思いました。

第2回 特別支援教育委員会研修会

平成28年度第2回特別支援教育委員会研修会が平成29年2月11日（土）甲府支援学校で開催され、教育現場とリハ専門職の連携強化を目的に60名の学校教員とリハ専門職が参加しました（ST11名）。今回は、リハ職を活用する立場の教師からの報告やインクルーシブ教育推進事業へ協力しているPT・OT・ST担当者からの実践報告が行われました。

参加報告

石和共立病院 大塚 由貴

研修会の主なプログラムとして、山梨大学大学院教授の相原正男先生、山梨県教育庁新しい学校づくり推進室の山本剛先生、近藤晴樹先生による講義をはじめ、特別支援教育コーディネーター、PT、OT、STの先生方による事例報告などでした。研修会には、リハビリ関連職の方だけではなく、教育現場で働く先生など様々な職種の方が参加されていました。

講義の内容としては、脳の機能と発達障害に関連した研究や、現在山梨県で行われているインクルーシブ教育推進事業についての報告でした。最初の講義では、社会脳（前頭葉）の発達過程や機能、発達障害との関連、発達障害が増えている理由や発達障害に関わる地域支援など、どれも知っているようで知らない興味深い話を聞く事が出来ました。

また、それぞれの先生方による教育現場で専門職が介入した事例報告では、普段、どのような活動を行い、現在はどのような状況で、どのような課題があるのかなど、日々働く中で見聞きする事が無い事を知る事が出来た、良い機会となりました。

私も支援のため、園や学校に訪問に行く機会があります。今回の事例報告を参考にし、子供達のよりよい生活のための支援を進めていきたいと思えます。

山梨県PT・OT・ST指導者育成研修会

平成29年2月19日（日）、山梨県委託事業として、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会地域支援事業等推進委員会主催の「PT・OT・ST指導者育成研修会」が山梨市民会館にて50名（ST14名）の参加で開催されました。全国でも先駆的な事業展開をしている大分県から作業療法士の佐藤孝臣先生をお招きして、午前は介護予防事業の講義、午後はグループワークにて実践力を養う内容の研修会でした。

参加報告

北杜市立塩川病院 向 亜希香

「地域ケア会議に資する人材とは？～これから取り組むべきこと～」をテーマに、講演・グループワークが行われました。

佐藤孝臣先生の講演では、大分県でのリハビリ専門職の地域ケア会議への取り組みについて報告がありました。大分県では平成26年5月までに全市町村で地域ケア会議が設置・運営されており、リハ職の派遣実績も大変多く、成果や課題などを数多く学ぶことができました。

技術面では、対象者への「自立支援」の視点で“活動・参加を意識した具体的な助言”それよりも大切である、「分かりやすい言葉」「端的な発言」といった“プレゼン能力”これらを意識しながら午後のグループワークに参加しましたが、短時間で考えをまとめることはとても難しいものでした。

私が勤務している北杜市でも地域ケア会議の開催が検討されており、実践で求められるSTになるために今後も学びを深めたいと思えます。

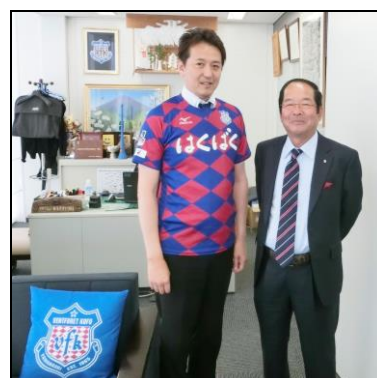
「言語聴覚の日」 イベント開催決定!!

日本言語聴覚士協会では、言語聴覚士法が施行された9月1日を中心とした地方組織の広報活動に対し活動支援金を給付しています。

今年度、山梨県言語聴覚士会ではその活動支援金を活用し、「言語聴覚の日」のイベントを開催することになりました。当士会では、サッカーJ1 ヴァンフォーレ甲府 ホームゲーム（山梨中銀スタジアム）にて、PR イベントを開催する機会をいただきました。

ホームゲームには1万人以上のサポーターがスタジアムに足を運び、県民に愛されるヴァンフォーレ甲府のホームゲームですので、多くの方にアピールできる場となると思います。

言語聴覚士の社会的認知度の向上、コミュニケーション障害者、摂食嚥下障害者の正しい理解および高齢者の難聴への対応等を知っていただく機会になるよう努めて参ります。



山梨県言語聴覚士会 言語聴覚の日 PR イベント

日程 8月26日（土）または27日（日）*

開始時間未定

* 試合日程によって、開催日が8月27日（日）に変更となる可能性があります。

会場 VF 甲府 川崎フロンターレ戦
山梨中銀スタジアム



<活動予定>

- スタジアム外におけるブースでの広報活動
- スタジアム電光掲示板での広報
- 横断幕を持つトラックエリア広報（試合前、ハーフタイム）
- 団扇の配布など

（文責：広報部 高橋正和）

理事会報告

平成28年度 第9回理事会議事録

日 時：平成28年12月21日 18時40分～20時50分

議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・中村・池神・和泉・桂川・小池・佐々木・高橋・元木・吉澤・梶原・河西

欠席理事：市川・赤池（洋）

<協議事項>

1. 代表者会議を平成29年2月3日、平成29年度定時社員総会・新入会員歓迎会を4月27日に、ヘルクラシック甲府で開催することが決定した。
2. 県土会ニュース37号企画案が一部変更後承認された。
3. 災害時県土会連絡網については継続審議となった。

<報告事項>

1. 新卒者研修に全回出席した9名に修了証を発行することが報告された。
2. 県立図書館へ書籍を寄贈したことが報告された。
3. 第9回学術大会が11月27日に山梨大学医学部キャンパスで開催されたことが報告された。
4. 12月17～18日に熊本復興支援ツアーを行い、8名が参加したことが報告された。

平成28年度 第10回理事会議事録

日 時：平成29年1月27日 18時40分～21時40分

議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・中村・赤池（洋）・市川・池神・桂川・小池・佐々木・高橋・元木・吉澤・梶原・河西

欠席理事：和泉

<協議事項>

1. 第5回東日本大震災支援チャリティバザー収益金は、福島県失語症者のつどいに寄付することが承認された。
2. 来年度の症例検討会は6月から年5回（偶数）月実施することが決定した。
3. 来年度総会に「会費の変更（1万円）」議案を提出することが承認された。

<報告事項>

1. 平成28年度介護職場人材育成研修会、甲府市在宅医療・介護連携推進会議、リハビリテーションのつどい公開講座について報告された。
2. 熊本復興支援ツアーの会計報告が行われた。
3. 山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会について報告された。
4. 代表者会議の議事次第と役割を確認した。

平成28年度 第11回理事会議事録

日 時：平成29年2月17日 18時37分～21時42分

議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・中村・池神・和泉・市川・桂川・小池・佐々木・高橋・元木・吉澤・河西

欠席理事：赤池（洋）・梶原

<協議事項>

1. 今後の東日本大震災復興支援の在り方について検討していくこととなった。

2. 来年度の新卒者研修の内容が承認された。
3. 県土会ニュース38号の企画について承認された。
4. 災害対策本部規程を次回理事会で検討することとなった。

<報告事項>

1. 平成28年度代表者会議を開催したことが報告された。
2. 在宅医療チーム視察研修会、第2回山梨県地域包括ケア推進協議会、第3回インクルーシブ教育システム推進連携会議について報告された。
3. 災害時県土会連絡網について説明された。
4. インクルーシブ教育推進事業の12月実績、第2回特別支援教育委員会研修会の開催報告が行われた。
5. 山梨県地域リハ・ケアの推進を考える会の講演会に250名以上の参加者があったことが報告された。

平成28年度 第12回理事会議事録

日 時：平成29年3月24日 18時45分～23時10分

議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・中村・赤池（洋）・市川・池神・和泉・桂川・小池・佐々木・高橋・吉澤・河西

欠席理事：梶原・元木

<協議事項>

1. 症例検討会の発表者、バイザーについては継続して検討していくこととなった。
2. 賛助会員のプレゼンテーションを症例検討会・講演会時に15分程度で実施することが決定した。
3. 県土会ニュースのグラブリ時点でのチェックの徹底、印刷業者へのデータ送信について確認された。賛助会員の広告サイズを統一することが決定した。
4. HPについては、年単位で段階的なリニューアルを行っていくことが確認され、次年度は国内サーバーと有料ブログへの変更が決定した。
5. 災害対策本部規程の確認を行い、第5条に山梨 JRAT を追加し、平成29年3月24日から施行することが承認された。

<報告事項>

1. 症例検討会、小児領域勉強会の次年度年間予定が報告された。
2. 県土会ニュース37号の発送作業、38号の企画、HP更新内容について報告された。
3. 3土会意見交換会、認知症サポーター養成講座について報告された。
4. 第2回導入研修が開催されたことが報告された。
5. 第3回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（山梨 JRAT）の会則・会費について、山梨 JRAT 設立総会及び記念式典の予定について報告された。
6. 第9回学術大会第6回実行委員会が開催されたことが報告された。
7. 地域支援事業等推進委員会の次年度の活動予定について報告された。
8. 平成29年度「失語症者向け意思疎通支援者指導養成研修」に当会から赤池副会長が参加することが報告された。
9. 平成29年度総会議案書の確認・修正作業を行った。

場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

書 記：安富朋子、山田 徹、山田典子、坪井沙妃

議事録作成：河西祐子

各局からのお知らせ

事務局

<総務部>

- 社員総会後にベルクラシック甲府で開催されました新入会員歓迎会には、これまでで最高の83名(内、新入会員14名、来賓7名)のご参加をいただき、盛大に行うことができました。皆様のご協力に感謝いたします。
- 「総会報告」以降の会員動向についてお知らせします。
退会:山本由里先生(甲州リハビリテーション病院)

<財務部>

- 会費納入(10,000円)がお済みでない方は、池神財務部長へ直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願いします。

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシカイ

県士会事業がさらに拡大・充実していけるよう、理事会開催や各種情報発信、財務管理等に取り組んでいきます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

社会局

例年、県士会事業が増えております。今年度におきましても会員皆様のご協力をお願い致します。

<職能部>

- 日本語聴覚士協会および山梨県理学療法士会・山梨県作業療法士会、山梨県介護支援専門員協会などの関連団体や行政との連携・協力を努めていきます。
- 東日本震災復興支援事業や社会局主催の認知症サポーター養成講座を企画しています。

<地域部>

- 地域における小児領域や当事者団体との連携・協力・交流に努めていきます。
- 地域リハビリテーション活動支援や広域支援センターの事業協力を努めていきます。

学術局

今年度もより充実した内容の講演会や研修会を企画していきますので、皆様のご参加をお待ちしております。

<学術部>

第1回 生涯学習プログラム基礎講座

日時:平成29年7月4日(火) 18:30~

会場:山梨県青少年センター 第1研修室

内容:臨床業務のあり方、進め方(内山量史会長)
言語聴覚療法の動向(河西祐子先生)

第2回 生涯学習プログラム基礎講座

日時:平成29年8月24日(木) 18:30~

会場:山梨県青少年センター 第1研修室

内容:臨床のマネージメントと職業倫理(赤池 洋先生)
研究法序論(中村晴江副会長)

第2回 学術講演会

日時:平成29年9月6日(水) 18:30~

会場:山梨市民会館 401会議室

テーマ:「語彙障害の評価と治療について」

講師:奥平奈保子先生

(東京都リハビリテーション病院 言語療法室)

<研修部>

第2回 症例検討会

日時:平成29年8月17日(木) 18:15~予定

会場:甲府市東公民館

第2回 小児領域勉強会

日時:平成29年7月8日(土) 14:30~

会場:甲府市共立診療所

内容:「検査と検査方法の特技」

<教育部>

第3回 新卒者研修

日時:平成29年7月13日(木) 18:30~予定

会場:甲府市東公民館

内容:「摂食嚥下障害の評価とポイント」

広報局

広報局では、当士会の活動を発信することと共に、社会から求められている言語聴覚士を会員の皆様に伝えられるよう、部員一同努めて参ります。

<会報編集・ホームページ管理部>

会報誌「県士会 NEWS」年間3回発刊、WEB版掲載を予定しております。ホームページにはイベント情報や会員向けのお勧め情報など、旬の情報を随時提供していきます。

<広報部>

一般向けの広報活動、広報グッズの作成・配布、県士会事業写真データの管理などを行います。今年度は「言語聴覚の日」広報イベントとして、VF甲府のホームゲームにてイベント開催を企画しております。多くの県民の皆様に言語聴覚の仕事とコミュニケーション障害者、摂食嚥下障害者の正しい理解および高齢者の難聴への対応等を知って頂くよい機会となるように努めてまいります。

「第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会開催」のご案内

第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会 実行委員長 赤池 三紀子
(湯村温泉病院)

平成29年12月2日(土)・3日(日)、アピオにおきまして、一般社団法人山梨県理学療法士会、一般社団法人山梨県作業療法士会と合同の「第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会」を開催いたします。

この合同学術大会は平成26年に第1回を開催し、3職種が共通の意識・目的を持っての全国でも初めての学会となり、両日500名以上の参加がありました。

今大会は、当会の内山会長が大会長を務め、「躍進～リハビリテーション未来の創生～」のテーマのもと開催されます。前回のテーマである「飛躍」を引き継ぎ、昨今の社会保障制度の変化やリハビリテーションの質に対する評価など明るい話題が少ないこの業界において3職種が結束し協働することでリハビリテーションの明るい未来を我々が創り出すという強い決意が込められています。

当日は40を超える一般演題と教育講演、特別講演が企画されております。一般演題では8名の言語聴覚士が発表いたします。特別講演の内藤栄一先生(脳情報通信融合研究センター研究マネージャー)には身体運動を制御するための中枢神経系の仕組みについて自身の研究成果をお話しいただけます。また、向井美恵先生(昭和大学名誉教授、朝日大学客員教授)からは歯科医師からの視点での摂食嚥下リハビリテーションについて訪問診療をはじめとする多くの経験に基づいた知見をご教授していただけます。

今後、学術大会の開催までには実行委員として会員の皆様にご協力をお願いする予定です。職場や職種の垣根を越え、理学療法士、作業療法士とのコミュニケーションを図ることができるのも大きな収穫です。当日は前回以上に多くの会員にもご参加をいただき、活発な意見交換のもと大会が盛大に開催されますよう、ご協力を心よりお願い申し上げます。



平成 29 年度山梨県言語聴覚士会 会員所属病院・施設一覧

平成 29 年 6 月現在

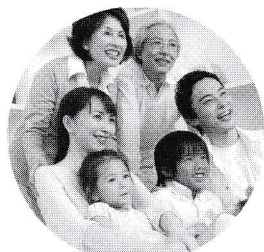
名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
石和温泉病院 言語聴覚室	406-0023 笛吹市石和町八田 330-5	Tel 055-263-0111 Fax 055-263-0260	富士温泉病院	406-0004 笛吹市春日居町小松 1177	Tel 0553-26-3331 Fax 0553-26-3574
春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院 言語療法科	406-0014 笛吹市春日居町国府 436	Tel 0553-26-4126 Fax 0553-26-4366	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーション病院 リハビリテーション科	402-0005 都留市四日市場 188	Tel 0554-45-8861 Fax 0554-45-8876
甲府脳神経外科病院 リハビリテーション科	400-0805 甲府市酒折 1-16-18	Tel 055-235-0995 Fax 055-226-9521	山梨市立牧丘病院	404-0013 山梨市牧丘町窪平 302-2	Tel 0553-35-2025 Fax 0553-35-4434
甲府共立病院 リハビリテーション室	400-0034 甲府市宝 1-9-1	Tel 055-226-3131 Fax 055-226-9715	国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科	400-8533 甲府市天神町 11-35	Tel 055-253-6131 Fax 055-251-5597
恵信梨北リハビリテーション 病院 リハビリテーション室	400-0106 甲斐市双葉町岩森 1111	Tel 0551-28-8820 Fax 0551-28-8830	甲府城南病院 言語聴覚療法科	400-0831 甲府市上町 753-1	Tel 055-241-5833 (リハ部) Fax 055-241-8660
巨摩共立病院 リハビリテーション室	400-0301 南アルプス市桃園 340	Tel 055-283-3131 Fax 055-282-5614	今村耳鼻咽喉科 めまい・難聴クリニック	400-0124 甲斐市中下条 868	Tel 055-277-8741
健康科学大学 リハビリテーションクリニック リハビリテーション課	401-0302 南都留郡富士河口湖町 小立 2487	Tel 0555-73-2800 Fax 0555-73-2844	山梨赤十字病院 リハビリテーション部	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1	Tel 0555-72-2222 Fax 0555-73-1385
笛吹中央病院 リハビリテーション科	406-0032 笛吹市石和町四日市場 47-1	Tel 055-262-2185 Fax 055-262-5985	山梨厚生病院 リハビリテーション室	405-0033 山梨市落合 860	Tel 0553-23-1311 Fax 0553-23-0168
石和共立病院 入院リハビリテーション室	406-0035 笛吹市石和町広瀬 623	Tel 055-263-3131 Fax 055-263-3136	甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション課	406-0032 笛吹市石和町四日市場 2031	Tel 055-262-3121 Fax 055-262-3727
湯村温泉病院 言語聴覚療法科	400-0073 甲府市湯村 3-3-4	Tel 055-251-6111 Fax 055-251-3579	富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科	403-0005 富士吉田市上吉田 6530	Tel 0555-22-4111 Fax 0555-22-6995
恵信甲府病院 リハビリテーション部	400-0814 甲府市上阿原町 338-1	Tel 055-223-7333 Fax 055-223-7337	山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部	409-3898 中央市下河東 1110	Tel 055-273-1111 Fax 055-273-8372
甲府共立診療所 小児リハ	400-0034 甲府市宝 1-10-5	Tel 055-221-1000 Fax 055-221-1011	白根徳洲会病院 リハビリテーション科	400-0213 南アルプス市西野 2294-2	Tel 055-284-7711 Fax 055-284-7721
一宮温泉病院 リハビリテーション部	405-0077 笛吹市一宮町坪井 1745	Tel 0553-47-3131 Fax 0553-47-3434	あけぼの医療福祉センター 療法科	407-0046 韮崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6111 Fax 0551-22-7890
山梨リハビリテーション病院 言語療法課	406-0004 笛吹市春日居町小松 855	Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569	山梨県立中央病院 リハビリテーション科	400-8506 甲府市富士見 1-1-1	Tel 055-253-7111 Fax 055-253-8011
竜王リハビリテーション病院 リハビリテーション部	400-0114 甲斐市万才 287	Tel 055-276-1155 Fax 055-279-1262	しもべ病院	409-2942 南巨摩郡身延町下部 1063	Tel 0556-36-1111 Fax 0556-36-1556
北杜市立塩川病院 リハビリテーション科	408-0114 北杜市須玉町藤田 773	Tel 0551-42-2221 Fax 0551-42-2992	甲斐リハビリテーション クリニック	400-0117 甲斐市西八幡 3900	Tel 055-278-2016 Fax 055-278-2017

<福祉関係>

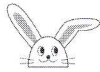
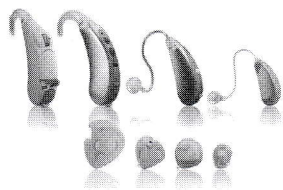
<教育関係>

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
しらゆり 訪問看護ステーション	400-0114 甲斐市万才 289	Tel 055-276-9933 Fax 055-276-9939	富士・東部 小児リハビリテーション診療所	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1 富士ふれあいの村内	Tel 0555-72-8528
勝沼ナーシングセンター リハビリテーション部	409-1302 甲州市勝沼町菱山中平 4300	Tel 0553-44-5311 Fax 0553-44-5221	田中美郷教育研究所 ノースサイドクリニック甲府教室	400-0008 甲府市緑が丘 2-10-1 まごころ補聴器内	Tel 090-1201-4419 Fax 055-215-2401
デイサービスセンター あさかわ	400-0041 甲府市上石田 4-18-6	Tel 055-288-0352 Fax 055-267-6008	山梨県立 あけぼの支援学校	407-0046 韮崎市旭町上條南割 251-1	Tel 0551-22-6131 Fax 0551-22-6628

おかげさまで35周年



これからもやさしい聴こえのお手伝い
快適生活をサポートします



認定補聴器専門店

山梨リオン補聴器センター

甲府店 ☎0120-29-3321 玉穂店 ☎0800-800-8173
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 山梨大学附属病院前

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



Atos
Atos Medical Your voice

株式会社アトスメディカルジャパン
〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル2F
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890
info.jp@atosmedical.com

HEALTH CARE FOOD
在宅 通信販売
Healthy Network

病院で使われている介護食を ご家庭にお届けしています。



- ☑ 噛むこと、飲み込むことが苦手な方に
- ☑ 飲食時によくむせる方に
- ☑ 食の細い方に

やわらかさの程度や形態別に分類されたおかず、
とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載
されています。また、栄養指導で
役立つコラムも多数ご紹介して
います！

とろみ調整食品は
とろみがつく
がアスメ！



カタログのご請求・お問い合わせは

株式会社ヘルシーネットワーク 〒191-0024 東京都日野市万願寺1-34-3

☎0120-236-977 受付時間 9:00~17:00※日・祝除く

ヘルシーネットワーク 検索 <http://www.healthynetwork.co.jp>

かきまぜても離水しにくい新しいゼリー

まぜてもジュレ

従来のゼリーにはない特性を持った
リセットゲルになります

- クラッシュしても離水しにくい
- 再結着性(まとまり)がある
- よくかきまぜるととろみ状になる



foodcare JAPAN 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本4-19-16 OMGビル
TEL: 042-700-0555 FAX: 042-700-7444



おいしく、たのしく、嚥下リハビリのお手伝い

摂食嚥下リハビリ食のラインナップ紹介

様々な製品を取りそろえています。

<p>毎日違う味を楽しめる 10種類の味</p> <p>エンジョイゼリー</p> <p>プレーン いちご コーヒー チョコレート あずき味 バナナ味 ゆず 抹茶 スイートポテト りんご味</p>	<p>個別の栄養補給に合わせた 食べやすいサイズ</p> <p>エンジョイカップゼリー</p> <p>いちご味 ココロの味 あずき味 コーヒー味 りんご味 マンゴー味</p>	<p>無理せず食べられる410g</p> <p>エンジョイ ハイカロリーゼリー</p> <p>りんご味 もも味</p>	<p>口元の質の向上とはやささぎ実用</p> <p>つるりに Quickly</p>
--	--	--	---

他にもおいしく栄養が摂れる、豊富なラインナップがそろっています。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。
☎0120-52-0050 クリニコ 検索 <http://www.clinico.co.jp> 高須乳業グループ病院栄養部門 株式会社クリニコ

唾液のチカラで健康と笑顔を
お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

Pepti-Sal



Pepti-sal (ペプチサル)とは、

「Peptide (ペプチド) +
「Saliva (唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された
低刺激性のオーラルケア製品です。
デリケートなお口をやさしくケアし、
お口の環境を健康に保ちます。
要介護の方のケアにもおすすめです。

2014年12月発売



T&K ティーアンドケー株式会社 ☎0120-555-350 www.comfort-tk.co.jp

編集後記

今年度も3か月が過ぎ、入職者の方にとっては業務に慣れてきた頃ではないでしょうか。4月には新入会員歓迎会が開催され、山梨県のみならず多くの都道府県出身の方が当県士会に入会してくださいました。私も数年前に経験しましたが、何を話したのか？何を食べたのか？とても緊張していたからか覚えておりません。今年度は「言語聴覚の日」のイベントや合同学術大会など大きな事業が開催されます。広報活動には多くの方の力をお借りすることになると思います。会員の皆様にはタイムリーな情報をお届けできるよう頑張りますので、宜しく願い申し上げます。

最後に、県士会ニュース作成にご協力頂いた皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。(小澤しず香)

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会
<発行人> 内山量史
<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集・HP管理部

石和温泉病院 高橋正和 坂井隆一
石和共立病院 渡邊千裕
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 佐々木 蘭子・小澤しず香
恵信甲府病院 藤原裕己
甲州リハビリテーション病院 間宮愛貴
甲府城南病院 中山山菜
国立病院機構甲府病院 小松 富美子
湯村温泉病院 岡 大樹

<事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366
<発行日> 2017年7月1日 第38刊